

村山造酢の千鳥酢

石野味噌の自味噌

丸常の練物

ゆば庄の京ゆば

富美家のおうどん

半兵衛麩の生麩

フレスコで京ブランド揃えましょ



すぐき漬

九条ねぎ

海老芋

堀川ごぼう

金時にんじん

みず菜

番生菜

聖護院だいこん

くわい

フレスコ Fresco

五条店

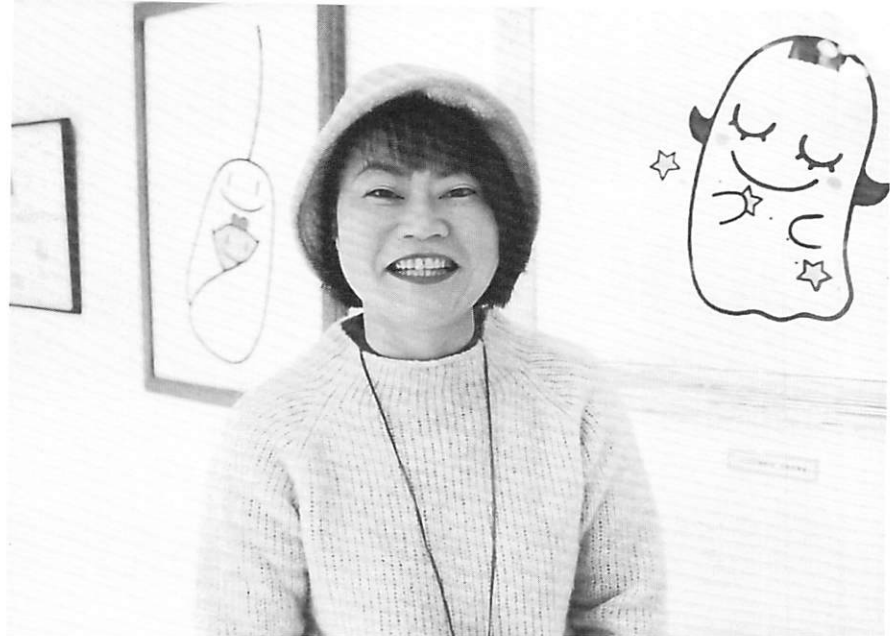
下京区五条通高倉西入ル

TEL.075-354-3131

10:00~22:00



フレスコ本部代表 TEL. 075-257-3551



イラストレーター

KYOTIAN I.D.

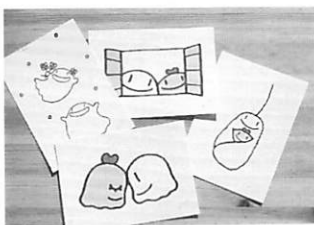
ながたみどり

キョーティアンアイディ

Nagata Midori

1966年、京都市生まれ。京都府立朱雀高校を卒業後、株式会社エレファントでデザインを担当。'94年、後にご主人となる西原元泰さん(現在、アンティークショップ・ケロヨン堂オーナー)との出会いを機にイラストを描き始める。'95年、ヨーロッパ旅行から帰国後にめでたく結婚。そこでフリーのイラストレーターに。数々のキャラクターデザインや雑誌への連載を経て、2000年11月に「ココロの時計はとめたまま」(主婦と生活社刊)を出版。心の動きや、やさしさを独自のイラストや4コママンガで描き、高い評価を得ている。

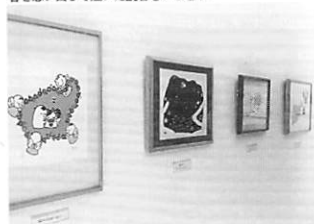
多くの出会いと大きな愛がイラストに生命を吹き込む



女性・主婦・母ならではの視点で作品づくりに取り組む。今後は自分の子供に喜んでもらえるキャラクターをつくるのが目標だとか



デビュー作「ココロの時計はとめたまま」は誰でも体験したことのある甘ずっぱい想いをストレートに表現した作品。昔を思い出して泣いた読者もいるとか



普段なら見過ごしてしまうような小さな日常のシーンを鋭い感覚で切り取り、愛情あふれるキャラクターとともに描写する彼女の作品は、多くの人の心の時線に触れる

Information 出版記念原画展
3月5日までジュンク堂京都店(四条富小路)で「ココロの時計はとめたまま」出版記念原画展を開催中。

一生の間に最高のパートナー、運命の人に出会える人は、いったいどれくらいいるだろう? ましてや、めぐりあった人のサポートで新しい世界を切り拓けるというのは、この上ない幸福と言える。ディック・ブルーナの「うさこちゃん」や、70~80年代コミックと、ハードロックをこよなく愛するながたみどりさん。ことに「ベルサイユのばら」に関してはセリフを暗記するほど愛読していたという。そんな彼女はデザイナーとして勤めていた株式会社エレファントで、後にご主人となる西原さんと運命の出会いを果たす。「初めて会った瞬間から一目惚れしました。とにかく彼の好きなことを自分もやりたくて、音楽や陶芸、釣りなど、いろんなことにチャレンジしてましたね。その中で一番自分にピッタリだと感じられたのが絵だったんです。彼に気に入ってもらえる絵を自分で描いてプレゼントしたいっ! その一心でした」と、ながたさんは振り返る。一方、西原さんもその気持ちに応えるかのように一緒に美術館めぐりをしたり、ながたさんの作品にアドバイスをしたりと、ながたさんの創作活動を支え続けた。

イラストレーターとして独立を決意したのは、阪神大震災の直後。「フランス、スペインを旅行して帰国した次の日に震災があったんです。その時「自分にできることをもっと頑張らなければ」と実感してイラストレーターの道を決意しました」とながたさん。その翌年にめでたく元泰さんと結婚し、独立。いよいよ新たな人生のスタートを切ることになる。

その後、長男ももうけ、子育てに追われながらもイラストを続ける。そんなながたさんの姿を見て、ご主人はもちろん、もとの職場・エレファントの社長など、多くの方が精神的にバックアップ。「会社を結婚退職して家庭一本になる人が多い中、フリーになってイラストを続けていく私を見て、社長が本当に親身になってくださったんです。出版社の方をはじめ、本当にいろんな方を紹介していただきました」とながたさん。そして、ついに主婦と生活社から「ココロの時計はとめたまま」を出版する。「本当に会おう人すべてが、私を支えてくれたんです。主婦と生活社の担当さんも、「一緒に頑張らましょ!」と、無名だった私を励ましてくださいました!」と、ながたさんの心には感謝の気持ちで満たされている。彼女が描くのはシンプルながらも心に残る線、心の動きや優しさを雄弁に語るキャラクターたち。それは彼女の努力と感性はもちろん、彼女のひたむきさに共鳴した多くの人とともに育まれたものかも知れない。

取材協力: イムアートギャラリー